

各位

会社名 株式会社アートフォースジャパン  
 代表者名 代表取締役社長 山口 喜廣  
 (コード番号 5072 TOKYO PRO Market)  
 問合せ先 取締役経営統括本部長 持塚 隆  
 (TEL 0557-45-1109)

## 第2四半期業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2022年2月15日に公表いたしました2022年12月期第2四半期連結累計期間(2022年1月1日～2022年6月30日)の業績予想と、本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

### 1. 2022年12月期第2四半期連結(累計)期間(2022年1月1日～2022年6月30日)の業績予想と実績値の差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,293	百万円 76	百万円 69	百万円 43	円 銭 172.97
今回修正予想(B)	2,365	55	55	39	156.41
増減額(B-A)	72	△21	△13	△4	
増減率(%)	3.2	△28.0	△19.8	△9.6	
(ご参考) 前期第2四半期累計実績 (2021年12月期第2四半期)	2,038	20	16	4	19.52

(注) 1. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第2四半期連結累計期間の期首から適用しております。  
 2. 前期第2四半期累計実績については当該会計基準等適用前の実績値を記載しております。

### 2. 差異の理由

当第2四半期連結累計期間につきましては、「地盤改良事業」、「建築事業」、「その他事業」のすべての報告セグメント売上高は当初予想通りに推移し、前回公表より72百万円上回る見込みとなりました。

一方、利益については、引き続き経費の縮減に努めたものの、原油価格をはじめとした資源価格の高騰に伴うコスト増加の影響を受け、売上原価は当初予想より88百万円増加して売上総利益は16百万円下回る見込みとなりました。販売費および一般管理費は当初予想より5百万円増加して当第2四半期連結累計期間の営業利益は55百万円と当初予想より21百万円下回る見込みとなりました。

営業外収益及び費用については、助成金等その他の収入9百万円の発生があり、経常利益は55百万円と当初予想より13百万円下回る見込みとなりました。また、特別損益は、工事施工機械等入替に伴う固定資産売却益5百万円の発生があり、上記の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等が当初予想より4百万円減少したことにより39百万円と当初予想より4百万円下回る見込みとなりました。

なお、通期の連結業績予想につきましては、原油価格をはじめとした資源価格の更なる上昇や金融市場の為替動向、新型コロナウイルス感染症再拡大など、景気への影響が不透明な状況が続くものと見込まれることから、2022年2月15日に公表いたしました連結業績予想の通期(2022年1月1日～2022年12月31日)の数値を据え置いております。

但し、今後の状況の変化等により修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は様々な要因の変化により、予想と異なる場合があります。